

## 平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報特別演習6(Special Exercises in Media Technologies 6)		授業コード	C194751
担当教員名	伊藤 研、赤星 哲也、濱田 大助、星芝 貴行、坂井 美穂、足立 元、坪倉 篤志、吉森 聖貴、福島 学		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。(学科推奨科目) 履修制限: 当該学年次のみ履修可、再履修: 不可			
受講心得	授業時はもちろん、学内外での取り組みも重要になります。			
教科書				
参考文献及び指定図書	就職基礎Drill 実務教育出版(2年前期 社会参画応用にて配布) 就職活動の神様の一般常識 問題集 ユーキャン就職試験研究会 他必要に応じて 就職活動の神様の一般常識 速習テキスト ユーキャン就職試験研究会 中3五科(10分間基礎ドリル20) 学研教育出版 就職活動の神様の一般常識これだけ! 一問一答集 ユーキャン就職試験研究会 2014年度版 就職活動の神様のSPI2問題集(ユーキャンの就職試験シリーズ) 2014年度版 就職活動の神様の一般常識「超」定番の1,000問プラス最新時事(ユーキャンの就職試験シリーズ)			
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報特別演習(1~8)、研究ゼミナール、卒業研究			

授業の目的	4年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの3年目後期のステップです。就職活動を予定している学生は就職活動に向けた最終的な準備期間です。スムーズに就職活動に入れるよう、準備に取り組めます。
授業の概要	本授業では、就職活動に向けた「実践的能力の修得」と、実際に就職活動を行なう「業界や企業」を決めることが主目標になります。具体的には、「面接練習」、「グループディスカッション練習」等を繰り返し実践的練習を行ないます。また、定期的に「一般常識問題」や「時事問題」に取り組み、知識を深めます。学期後半に一般常識と時事問題の小テストを行ないます。これらの取り組みから、目前に控えた、就職活動に向けた準備に取り組めます。 主テーマ 具体的な就職活動に向けた実践的学習

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：ガイダンス・企業訪問報告</b> 本授業での取り組みについて説明を行ないます。	配布資料。活動報告書。進路希望調査、18か月計画
<b>第2週：ワーク①</b> 各研究室にて、就職活動に向けたワークに取り組めます。ワーク毎に〆切が設定されていますので、よく確認して、計画的に取り組んでください。	活動報告書
<b>第3週：就職活動体験談1</b> 本年度の就職活動生で内定取得者が、就職活動にて取り組んだことを、全学生に向けて発表します。学生は、話から就職活動に向けて取り組むことを学習します。	活動報告書
<b>第4週：ワーク②・小テスト/三者面談/(集団面接①)</b> 研究室毎の小グループにわけ、今週と来週にわけてワーク・小テストや集団面接の演習に取り組めます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。	活動報告書

<b>第5週：集団面接①/(ワーク②・小テスト/三者面談)</b>		
実践的演習として、集団面接をテーマに取り組みます。3年生と合同で行い、より実践能力に磨きをかけます。学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第6週：ワーク③/(三者面談)</b>		
研究室にワークに取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第7週：ワーク④/(三者面談)</b>		
研究室にワークに取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第8週：ワーク⑤・小テスト/三者面談/(集団面接②)</b>		
研究室毎の小グループにわけ、今週と来週にわけてワーク・小テストや集団面接の演習に取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第9週：集団面接②/(ワーク⑤・小テスト/三者面談)</b>		
実践的演習として、集団面接をテーマに取り組みます。3年生と合同で行い、より実践能力に磨きをかけます。学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第10週：就職活動体験談2</b>		
本年度の就職活動生で内定取得者が、就職活動にて取り組んだことを、全学生に向けて発表します。学生は、話から就職活動に向けて取り組むことを学習します。		活動報告書
<b>第11週：ワーク⑥・小テスト/三者面談/(集団面接③)</b>		
研究室毎の小グループにわけ、今週と来週にわけてワーク・小テストや集団面接の演習に取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第12週：集団面接③/(ワーク⑥・小テスト/三者面談)</b>		
実践的演習として、集団面接をテーマに取り組みます。3年生と合同で行い、より実践能力に磨きをかけます。学生を小グループにわけ、今週と次週で取り組みます。また担任・就職委員と就職活動に向けた三者面談を行います。		活動報告書
<b>第13週：グループディスカッション</b>		
グループディスカッションの演習に取り組みます。		活動報告書
<b>第14週：ワーク⑦、期末小テスト(一般常識・時事)</b>		
継続して取り組んできたワークの総仕上げです。また期末小テストとして一般常識と時事問題に取り組みます。取得点を成績に含めます。		活動報告書
<b>第15週：ガイダンス・期末小テストワーク</b>		
授業の総まとめとしてガイダンスと、期末小テストの返却を行います。返却されたテスト結果を見て、今後の学習計画を立て、就職活動計画を見直します。		学習計画
<b>第16週：期末試験</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

**○単位を修得するために達成すべき到達目標**

<b>【関心・意欲・態度】</b>	具体的な就職活動に向けた実践的学習。就職活動に向けた準備
-------------------	------------------------------

<b>【知識・理解】</b>	各種業界や企業、就職活動の選考会に向けた知識
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	演習を通して集団面接の実践能力やグループディスカッション能力を育成
<b>【思考・判断・創造】</b>	就職活動に向けた実践的な判断ができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	60点	0点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容
発表・その他 (無形成果)	課題やワークへの取り組み